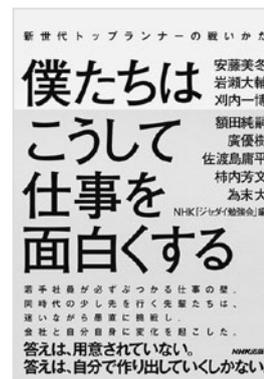


『新世代トップランナーの戦いかた
僕たちはこうして仕事を面白くする』

NHK「ジセダイ勉強会」編 NHK 出版 1,400円(本体)

同世代の目標や問題意識から得られる
多くの、ちょっとした「気づき」

会員 小峯 健介 (57期)



本書は、いわゆるビジネス書であり、「これからの日本を担うと期待される新世代のトップランナー8名の言葉と仕事術をまとめたもの」(「はじめに」より)です。

普段この手のビジネス書はほとんど読まないのですが、広報委員会の活動を通じて知り合った知人の弁護士に紹介されたのを機に読んでみました。編集チームのリーダーの方が私と同じ1980年生まれであり、編集チームのメンバーの方も私とほぼ同世代であることや、本書で紹介されている8名の方(1976年～80年生まれ)も私とほぼ同世代であることなども、本書に興味をひかれた理由の一つです。

本書で紹介されているのは、①安藤美冬氏、②岩瀬大輔氏、③刈内一博氏、④額田純嗣氏、⑤廣優樹氏、⑥佐渡島庸平氏、⑦柿内芳文氏、⑧為末大氏の8名です。8名の仕事内容や活躍されている分野はそれぞれ異なりますが、本書では、各人各様の仕事に対する考え方や仕事上の工夫等が語られています。1名あたりの分量は約30頁弱ですので、移動中の電車内や業務の隙間時間などに手軽に読むことができます。

本書は、主として会社や組織で働いている、20代・30代の若手・中堅のビジネスパーソン向けに書かれた本のようなのです。私たち弁護士についていえば、必ずしも会社や組織で働いているわけではありませんので、その意味では、本書が対象としている典型的な読者層からは少し外れているのかもしれませんが。ただそれ

でも、業務に取り組む上での姿勢という点においては共通する部分も少なくないと思いますので、主として20代・30代の方には、日々の業務に取り組むにあたって何かしらのヒントが得られるのではないかと思います。

気がつけば弁護士登録後10年あまりが経過しました。何かと慌ただしく過ぎ去っていく日常から少し目を離して、一歩引いた視点からあらためて自分の業務のあり方を見つめ直してみますと、いろいろと思悩むこと、考えること、焦ることも少なくありません。とりわけ近時の弁護士を取り巻く環境は厳しく、将来への不安は尽きることがありません。そのような中で本書を読んで、多くの、ちょっとした「気づき」を得たように思います。自分とほぼ同じような世代の方が、どのようなことを考え、どのようなことに悩み、どのように工夫をし、どのような目標や問題意識を持って仕事に取り組んでいるのか等が語られている本書の内容には、刺激を受けるところが少なくありません。歳の離れた人生の大先輩からのアドバイスというのではなく、自分とほぼ同世代の方が率直に語っているからこそ、素直に受け入れやすいのだと思います。

私たち弁護士の業務について仕事を「面白くする」というと何か語弊があるかもしれませんが、本書を読んで、日々の業務の中で自分なりの目標や問題意識を持って工夫をすることによって、まだまだ仕事を「面白くする」余地があるのではないかと感じさせられました。